

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-322683

(43)公開日 平成9年(1997)12月16日

(51)Int.Cl.⁶

A 0 1 K 97/10

識別記号

庁内整理番号

F I

A 0 1 K 97/10

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数5 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平8-154895

(22)出願日 平成8年(1996)5月27日

(71)出願人 396012458

謝 明明

台湾台北市新生南路1段160巷27号4階

(71)出願人 396012469

曾 孟津

台湾台中県大里市徳芳路3段207号

(72)発明者 謝 明明

台湾台北市新生南路1段160巷27号4階

(72)発明者 曾 孟津

台湾台中県大里市徳芳路3段207号

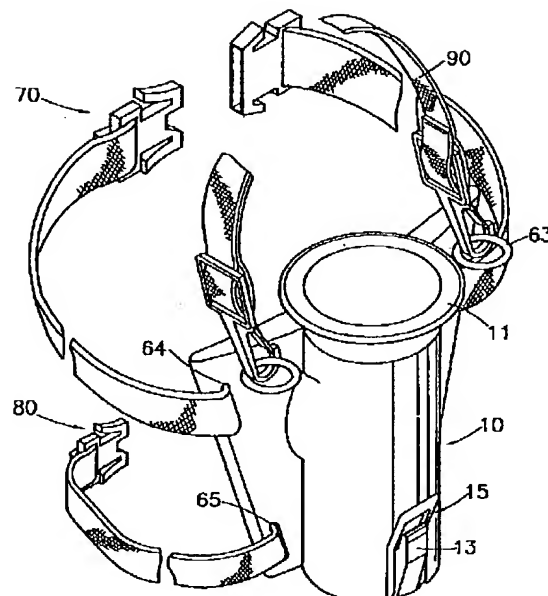
(74)代理人 弁理士 小島 高城郎

(54)【発明の名称】 装着式釣竿支え装置

(57)【要約】

【課題】 本発明は一種の装着式釣竿支え装置に関するものである。その主要な目的は、身体に装置し、携帯することができる一種の釣竿支え装置を提供することである。これにより、釣り人の両手は完全に自由となり、魚の引きを長時間待つ間の心身の疲労を大幅に軽減することができ、しかも魚を捕獲する過程に於ける釣り人の身の安全をも確保することができる。

【解決手段】 本発明は身体に装着し携帯できる一種の装着式釣竿支え装置、収容筒を提供することにより、ウエスト、肩、大腿部に固定でき、釣竿を持つ必要がなくなり、長時間釣竿を支えることによる疲労を避けることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 一種の装着式釣竿支え装置である。それは、身体に掛けることができる基板、基板の両側に設置されている多数の固定穴、或いはリングフック、基板をこれらの固定穴を経由し身体上に固定する少なくとも一対の固定ベルト、釣竿を支える収容筒、当該筒体外周上に形成されているリム、当該リム内に設置されている突出軸、上述の収容筒と基板間に設置されており、上述の収容筒を上述の基板上に連結組み合わせている一組の連結ユニット、上述の収容筒の突出軸が上述の連結ユニットを貫通する時に突出軸に固定するために用いられる一組の固定ユニットを含んでいる。これにより基板は上述の一対の固定ベルトのフックにより人体上に固定される。当該釣竿収容筒は上端の開口部を用い、釣竿を中に収容し、支える。これにより、人が手で長時間釣竿を支えるという欠点を避けることができる。

【請求項2】 請求項1記載の一種の装着式釣竿支え装置の当該連結ユニットはバネ、回転摩擦ワッシャー、基板上に固定されるリングフックを含む。固定ユニットは停止ピン、C型留め金を含む。当該C型留め金は、連結ユニットに突出軸をはめ込んだ後に軸を留める留め金である。さらに留めピンでC型留め金の外に固定する。

【請求項3】 請求項1記載の一種の装着式釣竿支え装置の当該一対の固定ベルトは、ウエスト部の固定ベルトであり、もう一対は大腿部の固定ベルトであり、もう一対は基板を肩に掛け固定するショルダーベルトである。

【請求項4】 請求項1記載の一種の装着式釣竿支え装置は、当該連結ユニットにより、ネジを利用し、それを基板上にネジ込んで固定するために固定体上の円周平面には多数のネジ穴が設けられている。その内の当該連結ユニット固定体の外周には、外周に沿って一部を削った弧状溝と収容筒のリム外周上の停止ブロックと相対し、釣り糸を出し入れする時の活動角度を制限する。

【請求項5】 請求項1記載の一種の装着式釣竿支え装置の当該収容筒体底部には、筒体底部の開閉状態をコントロールし、釣竿架設の目的を達成するため底部開閉ユニットが設けられている。その内、当該底部閉鎖ユニットは三段連結棒ユニットが繋がった開閉器であり、当該開閉器の前端は筒体前端的固定台に固定することができる。その後端は、筒体後端のフランジ、これで当該連結ユニットは当該フランジを支点とし、三段連結棒の連結、及び回転を利用し、収容筒体底部の開閉をコントロールしている。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 一種の装着式釣竿支え装置である。その主要な目的は、身体に掛け、装着し携帯することができる一種の釣竿支え装置を提供することである。釣竿を釣竿支え装置の収容筒内に差し込むことができるため、釣り人の両手は完全に自由となる。魚の引き

を長時間待つ間の心身の疲労を大幅に軽減することができ、しかも魚を捕獲する過程に於ける釣り人の安全をも確保することができる。

【0002】

【従来の技術】 本発明は一種の魚釣り用の釣竿支え装置である。その特徴は身体に装着し携帯することができる点にある。魚釣りは現代人の生活に於ける、高尚なレジャー活動の一つである。海辺、湖畔、或いは川辺を問わず、どこでも釣竿を持った釣り人を目にする事ができる。釣り人は長時間魚を待つため、精神的には容易に緊張、疲労するばかりではなく、皆一様に腕力に頼り、釣竿等の装備の重量を支えているため、長時間の待機は非常に体力を消耗し、反対にレジャーの楽しみを喪失させてしまう。

【0003】 魚が針にかかった時には、一般に釣り人は両手で釣竿を持ち上下回転させることができるが、もしその釣り人の体力が不足しているか、或いは大魚に当たった場合には、魚と長時間戦うことはできない。安全の見地から、せっかく釣った魚を放すか、さもなくば糸を付けた釣竿までも魚に引きずられてしまい、反対に損をすることになってしまう。この他、魚がかかった時には、引き上げられた魚は、その口中から釣り針を抜き取る必要があり、抜き取る時は両手で同時にこの操作を行わなければならない。一般の処理の方式は、釣竿を釣り糸を付けたまま地面上、或いは磯の岩上に置き行う。しかしこの方式では釣竿は転がり表面に傷が付き易く、釣り糸も絡まり易い。釣り人はこの処理を、非常に繁雑で混乱していると感じている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は上述の問題点を解決するため、釣竿を支えることができる装置を提供し、釣り人の両手を自由にし、かつ安全を提供することもできる現在の釣り人にとって既に必要不可欠なものとなった物品を提供する。このように、本発明の目的は新型の装着式釣竿支え装置を提供し、釣り人が長時間釣りをすることにより疲労する欠点を解決することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明が提供する一種の装着式釣竿支え装置の特徴は、釣竿を収容筒内に差し込むことができ、それにより両手が同時に魚を捕らえる処理作業に用いられる点にある。しかも、釣竿は魚を捕らえる素早い処理により不当な損傷を受けることがなく、さらには釣り糸が絡まることもない。またこの装置を用いれば、釣り人は釣竿を使用しない時には背中から肩部分に移動させ、両手を完全に自由自在にすることができ、釣り人は釣り場の環境を散策することもでき、また頻繁に魚を捕らえ処理する場合でも身体の安全を確保することができる。

【0006】

【発明の実施の形態】 本発明は、身体上に掛けられる基

板、その両側にそれぞれ設置されている多数の対になった固定穴、或いはリングフック、基板をこれらの固定穴を経由し身体上に固定する少なくとも一対の固定ベルト、釣竿を支える収容筒、当該筒体外周上に形成されているリム、当該リム内に設置されている突出軸、上述の収容筒と基板間に設置されており、上述の収容筒を上述の基板上に連結組み合わせている一組の連結ユニット、上述の収容筒の突出軸が上述の連結ユニットを貫通する時に突出軸に固定するために用いられる一組の固定ユニットを含んでいる。これにより基板は上述の一対の固定ベルトのフックにより人体上に固定される。当該釣竿収容筒は上端の開閉部を用い、釣竿を中に収容し、支え、

【0007】

【実施例】図1から図5までを参照されたい。本発明装着式釣竿支え装置10は、基本的には人体上に掛けることができる基板60、基板60を人体上に固定することができる少なくとも一対の固定ベルト70-70、80-80、90-90、釣竿を支えることができる収容筒11、上述の収容筒11及び基板60間に設置されている一組の連結ユニット30を含んでいる。上述の収容筒11と基板60を連結、組み合わせる一つにする固定ユニット40は、連結ユニット30を収容筒11と基板60間に固定している。その内、基板60は弧状を呈しており、人体のウエスト部分に装着する便のため、中程度の硬度を有するプラスチック材料で製造されている。もし基板60を硬い材質で製造するなら、人体に装着する面には柔軟で弾力性を有するクッションを付けるのが望ましい(図示なし)。人体上に掛ける便のため基板60の正面の形状は逆台形を呈しており、上部が広く下部が狭くなっている。その上端部にショルダーベルト90を通すためのリングフック63が設置されており、また上端の両側には大腿部に装着するフットベルト80を設置することができる。図が示すように、ショルダーベルト90、ウエストベルト70、或いはフットベルト80はともに、一般に市販されているワンタッチフックの帯状物を使用している。

【0008】釣竿の収容筒11は、貫通している筒体である。その円周にはリム12を形成し、リム12の内から外へ突出軸121が設置されている。突出軸121の外端には、固定穴123があり、収容筒11の後端底部には固定台13が設置されている。固定台13の両側、収容筒11の底部には各一本の縦方向溝穴131がある。収容筒11底部の開閉ユニット15を上述の固定台13とフランジ14上に設置する便のため、収容筒11の前端にはフランジ14が設置されており、フランジ14の前端には貫通しているピン通し穴141が設置されている。当該底部開閉ユニット15は151、152、153等を含む三段連結棒ユニットから構成されている。その内、上段の連結ユニット151の上端には弧状

の把手部1511があり、その下端には把手接続穴1510がある。中段連結ユニットは把手接続穴1520を具えたH型部品152であり、上段の連結棒ユニットの接続穴1510とピン154で貫通し接続した後、C型留め金で固定される。その下端には接続穴1521があり、下段連結ユニット153上の連結穴1530もピン154により貫通設置され、中段連結棒152の下連結穴1521と接続している。さらにC型留め金155を利用し、下段連結棒の外側に固定されている。また下段連結棒ユニット153の下端連結穴153は、ピン142を利用し、収容筒11の下端フランジ14の連結穴141に接続し、さらにC型留め金143を用い、フランジ14上に固定する。これにより、収容筒11底部の開閉ユニット15は、ただ下段連結棒ユニット153の下端両連結穴1531-1531を利用し、収容筒11のフランジ14上に固定されていることがわかる。さらに、上段の連結棒ユニット151の把手部1511を利用し、収容筒11の固定台13上に固定する。こうして上段連結棒ユニット151の両アーム部は閉鎖状態時には、収容筒11の底部固定台両側の縦方向溝穴131-131中に入っている。これは下段連結棒ユニットの縦方向面を利用し、釣竿を支えるものである。よって、その支える力には余裕がある。

【0009】本発明の収容筒11と基板60間は、上述の組み合わせ連結ユニット30を利用し連結する。当該連結ユニット30はバネ31、ワッシャー32と基板上にロックできる固定リング33を含んでいる。固定リング33の表面には、四個の固定ネジ穴が設置されており、基板上のネジ69を利用し、通し穴694を貫通し基板60と一体に固定する。固定前には、当該連結ユニット30は収容筒11の突出軸121の外周にはめ込まれ、また上述のロックユニット40を利用し、連結ユニット30を突出軸121上に固定する。当該固定ユニット40はC型留め金42と固定ピン41を含んでいる。これにより、本発明の釣竿収容筒11は、連結ユニット30と固定ユニット40、及びネジ69と基板60を利用し、回転可能な方式で一体に連結されている。連結ユニットの固定リング33と基板60は固定され、またユニット30は固定ユニット40を利用し、収容筒11の突出軸121上で回転可能な方式で一体に連結されている。同時に固定リング33の円周面には一段の弧状溝331があり、収容筒11のリム12上の停止ブロック120と対応し、基板を人体上に固定する時、収容筒11の停止ブロック120は固定リング33の弧状溝331中に於いて動くことができる。本発明のより優れた実例によれば、当該弧状溝331の回転範囲の角度は約90度である。もし釣竿を置く角度を約15度とすれば、その魚を引く角度は105度まで可能である(図8参照)。その使用状況については次に述べる。

【0010】ここではさらに詳細に説明して行く。本発

明の基板60の固定ベルトはウエストベルト70、フットベルト80、ショルダーベルト90等の三種類があるが、湖畔、或いは川辺の小規模な釣り場では、一種の固定ベルトを使用するだけで十分で、必ず三種を使用しなければならない訳ではない。ただ大規模な海釣り、或いは磯釣りに対しては、安全を考慮し、例えばウエストベルト70とフットベルト80を同時に使用する等、二種以上を併用することが最も望ましい。さらに大規模な場合には、ショルダーベルトを加えて一緒に使用すれば、その安全性と安定性はさらに優れたものとなる。よって、本発明の基板60を身体上に固定する時にどの固定ベルトの使用が適しているかは、釣り人が実際の状況の必要に応じて自由に選択することができる。次に、図6-8を用い本発明の使用方法を説明する。図6が示すように、本発明の支え装置10のその基板60は、一般には腰部側面に装置し、釣竿Sは、自由に収容筒11内に差し込まれる。リールRと釣り糸Fの受ける力の関係により、釣竿を差し込んだ後、通常は図6が示すように約15度の正常使用状況に止まっている。この時、収容筒11の底部は閉鎖状態を呈しており、魚の引きを待っている時でも、釣り人の両手は完全に自由に動かすことができる。このような状況は、釣りの愛好者にとっては、間違いなく楽であり、喜ばしいことであり、本当のレジャーの目的を達成することができる。

【0011】釣りの過程に於いて魚が釣れた場合には、収容筒11の底部は閉鎖状態になっているため、釣竿から釣った魚を回収する時には施力の主要支点となり得る。特に、大きく重たい魚がかかった場合には、安全に力を節約して、という目的を達成することができる。かかった魚を処理する過程に於いて、釣り糸を回収時、収容筒11は釣竿の釣り糸回収と魚との戦いの状況に従い、収容筒11を支点とする、固定リング33の弧状溝331と収容筒11のリム12上の停止ブロック120による、相対角度の活動範囲は90度である。よって、収容筒11を15度から105度の間で上下に回転するのを自由にコントロールすることができる(図8参照)。一般の魚を釣った後の処理過程とは完全に一致しており、そのため実際の使用上では極めて便利である。

【0012】魚がかかった時の処理が一段落し、魚を岸に近づけた時、図7が示すように釣竿を腕の後の固定位置まで移動させ、同時に図5の点線が示す位置まで収容筒11の底部を開く。これにより、釣竿SはリールRの位置まで下降し、例えば収容器2の頂上面で停止するように非常に安定した状況となる。この時、図7が示すように釣竿は背中にあるため、釣り人はその両手を自由に動かすことができ、片手で網を持ち魚をすくうことができ、もう一方の手では魚を吊り上げ釣り針を外したり、或いは釣り餌を付け替えることができる。もし、釣り針を基板60上のショルダーベルトリングフック63

上に掛け、リールRを用い釣り糸を巻き取るなら、釣り人は腰を曲げクーラーボックスを開け魚を入れ、或いはクーラーボックスを運び、或いは他のいかなる動作も行うことができる。

【0013】

【発明の効果】このように、本発明装着式釣竿支え装置は現在の釣り人の多くの問題を解決するばかりではなく、同時に現在存在する釣竿を人体工学的設計に合わせ、人体の疲労と影響を最低限度まで低め、長時間の釣りの楽しさを達成し、また安全な設置は、本発明の最良の提案である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明携帯式釣竿支え装置の立体分解図である。

【図2】本発明の立体指示図である。

【図3】本発明の正断面図である。

【図4】本発明図3A-A部分の上から見た断面図である。

【図5】本発明収容筒の底辺開閉ユニットの動作を示す図である。

【図6】本発明収容筒の使用説明指示図である。

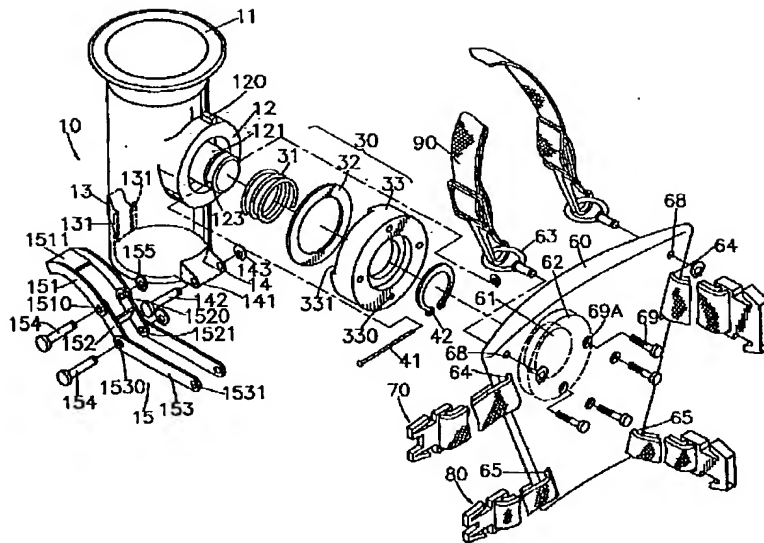
【図7】本発明収容筒の使用説明指示図である。

【図8】本発明収容筒の使用説明指示図である。

【符号の説明】

- 11 収容筒
- 12 リム
- 14 下端フランジ
- 30 連結ユニット
- 31 バネ
- 32 ワッシャー
- 33 固定リング
- 40 固定軸ユニット
- 41 ロックピン
- 60 基板
- 63 リングフック
- 69 ネジ
- 70 ウエストベルト
- 80 フットベルト
- 90 ショルダーベルト
- 120 停止ブロック
- 121 突出軸
- 131 縦方向溝穴
- 142 ビン
- 151 上段連結棒部品
- 153 下段連結棒部品
- 155 C型留め金
- 330 固定ネジ穴
- 331 弧状溝
- 1511 取っ手部

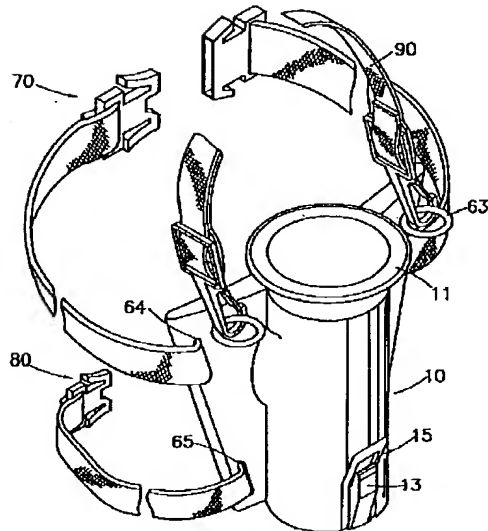
【図1】



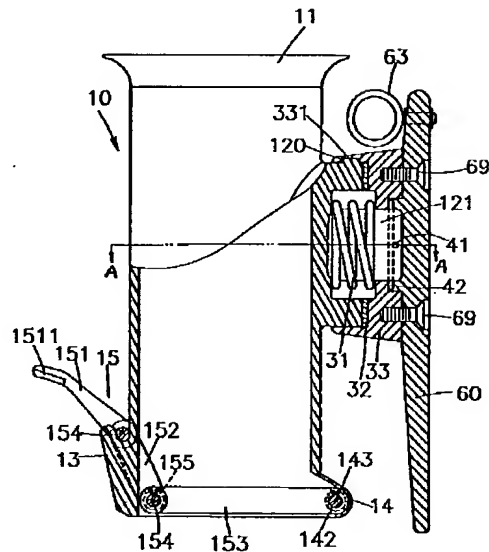
【図6】



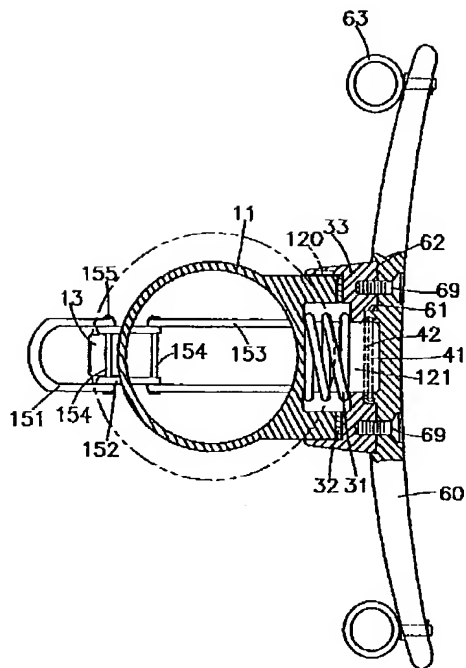
【図2】



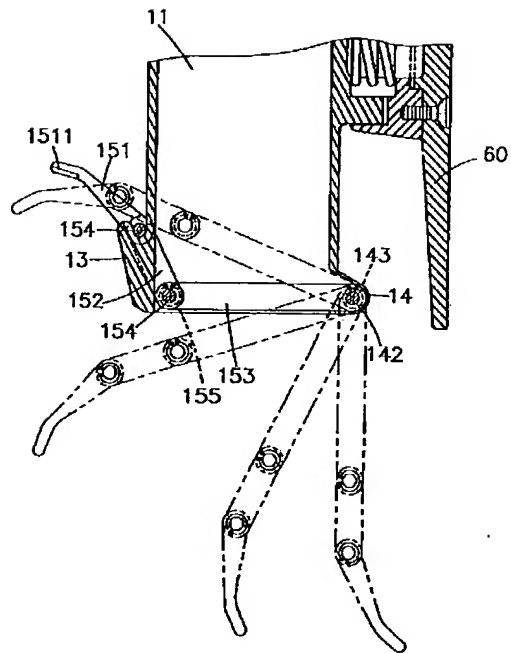
【図3】



【図4】



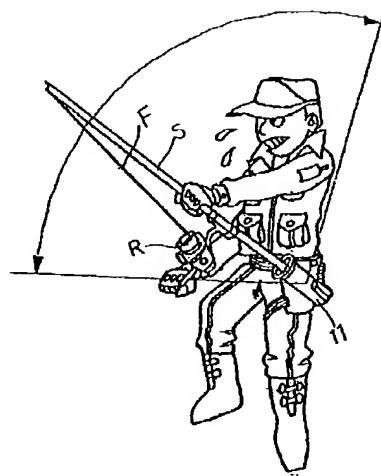
【図5】



【図7】



【図8】



PAT-NO: JP409322683A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09322683 A

TITLE: ATTACHMENT TYPE FISHING ROD SUPPORT
DEVICE

PUBN-DATE: December 16, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SHA, MEIMEI

SO, MOTSU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

SHA MEIMEI

SO MOTSU

COUNTRY

N/A

N/A

APPL-NO: JP08154895

APPL-DATE: May 27, 1996

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an attachment type fishing rod-supporting device having a base plate capable of being fixed to the body of a fisherman, a receiving cylinder for supporting a fishing rod, etc., capable of unnecessitating to support the fishing rod with the hand of the fisherman for a long period, capable of reducing the fatigue of the body of the fisherman and improved in safety and handleability.

SOLUTION: This attachment type fishing rod-supporting device comprises a

base plate 60 capable of being fixed to the body of a fisherman, many fixing holes 123 or ring hooks 63 set to both the sides of the base plate 60, at least a set of fixing belts 70, 80, 90 for fixing the base plate 60 to the body through the fixing holes 123, a receiving cylinder 11 for supporting a fishing rod, a rim 12 formed on the outer periphery of the cylinder, a projected shaft 121 disposed in the rim 12, a set of connection units 30 disposed between the receiving cylinder 11 and the base plate 60 and used for connecting and combining the receiving cylinder 11 to the base plate, and a set of fixing units to be fixed to the projected shaft 121, when the projected shaft 121 of the receiving cylinder 11 penetrates the connection unit 30. The base plate 60 is fixed to the human body with a set of the fixing belts 70, 80, 90.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1998-094641

DERWENT-WEEK: 199809

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Mounting type support apparatus for
fishing rod for lake and sea fishing - has storage
cylinder, that can be opened from its upper end to receive
and support one end of fishing rod, and provides rim with
protrusion connected by coupling unit to board
which is fixed with e.g. shoulder belt

PATENT-ASSIGNEE: XIE M M[XIEMI] , ZENG M J[ZENGI]

PRIORITY-DATA: 1996JP-0154895 (May 27, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC
JP 09322683 A		December 16, 1997	N/A
006	A01K 097/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP 09322683A	N/A	
1996JP-0154895	May 27, 1996	

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09322683A

BASIC-ABSTRACT:

The apparatus includes a storage cylinder (11) formed with a rim (12) on its outer periphery. A protrusion shaft (121) projects outward from the rim. Two shoulder belts (90) have ring hooks (63) fixed to the upper

sides of a board
(60). The board is formed with fixed holes so that other
belts such as a waist
belt (70) and a foot belt (80) can also be fixed.

The board is connected to the protrusion shaft through a
coupled unit (30).
Two fixed units fix the protrusion shaft to enable the
board to be supported to
the fisherman's body as he or she wears the shoulder belt.
When in use, the
upper opening of the storage cylinder is opened so that it
can accommodate and
support one end of a fishing rod.

ADVANTAGE - Fisherman may not support fishing rod for
longer period of time;
allows fisherman to enjoy fishing without easily getting
tired while he waits
for fish to be caught. Ensures safety of fisherman as he
catches fish.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/8

TITLE-TERMS: MOUNT TYPE SUPPORT APPARATUS FISH ROD LAKE SEA
FISH STORAGE

CYLINDER CAN OPEN UPPER END RECEIVE SUPPORT ONE
END FISH ROD RIM
PROTRUDE CONNECT COUPLE UNIT BOARD FIX SHOULDER
BELT

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1998-075873